

# 認知症初期集中支援の流れ

## 1 周囲の気づき

### Aさんの場合

- ▶ 70歳代
- ▶ 一人暮らし
- ▶ 子どもは県外在住

離れているので様子が分からない。物忘れが気になるが、受診を勧めても行かない。



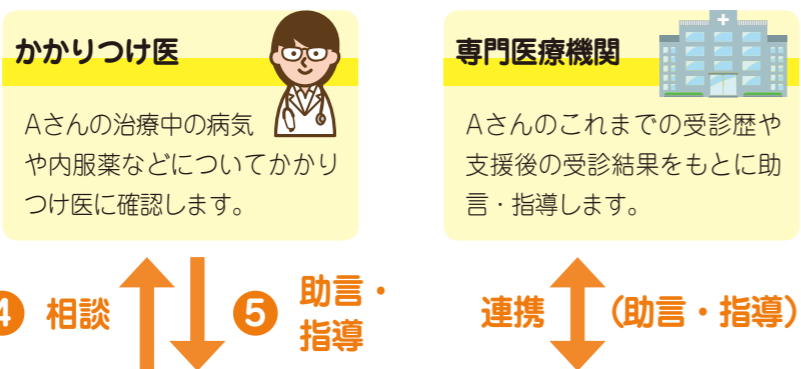
家族

最近、近所をウロウロと歩き回っている。



地域住民、民生委員

相談・対応依頼



## 地域包括支援センター（認知症初期集中支援チーム）

### 2 初回訪問

- ▶ 認知症程度の確認
- ▶ 身体状況の確認
- ▶ 認知症に関する情報提供



Aさんの思い（要望・困っていること）や家族の要望・希望を聞き取ります。

### 3 チーム員会議

- ▶ 支援の方向性検討



認知症専門医の受診や介護保険サービスの利用等について検討します。

### 6 支援の実施

- ▶ 生活や介護についての相談・指導
- ▶ 介護保険サービス利用の勧奨
- ▶ 受診勧奨 など

### 7 チーム員会議

- ▶ Aさんの介護保険サービス利用状況などを踏まえて、集中支援終了の判断

### 8 ケアマネージャー等への引き継ぎ

## その後のAさん



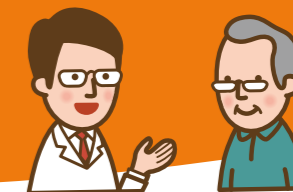
認知症専門医受診後に介護認定の申請をし、介護保険サービス（訪問看護、ヘルパー、デイサービス）を利用しながら、在宅で生活を続けています。デイサービスで顔なじみの仲間と過ごすようになり、笑顔が増え、一人歩きも減りました。

# 認知症かな？と思ったら

## 地域包括支援センター

# 「認知症初期集中支援チーム」に

## まずはご相談ください！



認知症の本人やその家族に対して、早期に関わる専門チームです。

### 認知症初期集中支援チームとは

認知症は早期発見・早期治療で進行を遅らせることができ、また、軽度の認知症であれば、早期治療と対応で元気な状態に戻ることも可能だといわれています。

認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れたところで自分らしく生活していけるように、認知症が気になる方、認知症の家族のことでお悩みの方は、**地域包括支援センター（認知症初期集中支援チーム）**にご相談ください。

### 支援対象者

- 40歳以上で在宅で生活しており、認知症の疑いがある方
- 認知症の方で、医療サービス、介護サービスを受けていない、または中断している方

### 支援内容

- 市内在住で、認知症の疑いがある方や認知症と診断された方のご自宅を訪問し、心配ごとや困っていること、要望をお聞きして、認知機能・健康状態の確認や今後の対応について、ご本人やご家族と一緒に考えます。
- 必要に応じて認知症専門医療機関のご紹介や介護保険サービスの情報提供を行います。

### 利用状況（平成30年度）

利用された27人のうち16人（約6割）が、認知症専門医の受診や介護保険サービスの利用開始につながっており、11人は継続してチーム員が関わっています。

### 利用方法

まずはお住いの地域を担当する地域包括支援センターへご連絡ください。

## 認知症に関するご相談は「地域包括支援センター」へ

担当地区	市内全域	地域包括支援センター 長寿（敦賀市役所長寿健康課内）	☎22-8181
担当地区	粟野地区以外	地域包括支援センター あいあい（あいあいプラザ内）	☎22-7272
担当地区	粟野地区	地域包括支援センター なごみ（つるが生協在宅総合支援センター 和 内）	☎21-7530

認知症の方やご家族を地域で見守り応援する認知症サポーターが、敦賀市で1万1千人を超えました！

認知症サポーターのためのステップアップ講座

もっと認知症を学びたい方や、認知症サポーターとして地域で活躍いただける方を対象に「ステップアップ講座」を開催します。

認知症になっても、だれもが安心して暮らせるまちを一緒に考えませんか？



日時 1月30日（木）  
13時30分～

場所 あいあいプラザ

内容 認知症の方への対応方法、地域での活動について意見交換

対象 認知症サポーター養成講座を受講した方

定員 30人（無料）

問合せ・申込先 地域包括支援センター「長寿」

☎22-8181